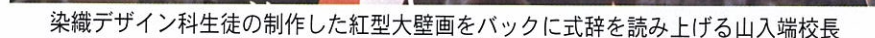


県立第一中学校・首里高等学校が創立百三十周年



首里高校の益々の発展を祈念して万歳三唱



染織デザイン科生徒の制作した紅型大壁画をバックに式辞を読み上げる山入端校長



当日午前、石川会長ほか実行委員会が一中健児之塔で記念行事の開催を奉告



宮国 伸一朗
生徒会長



森田 悦雄
PTA会長



尚 弘子
元沖縄県副知事



津留 健二
元沖縄県教育長・学校評議員



比嘉 梨香
沖縄県教育委員会委員長



金武 正八郎
沖縄県教育委員会教育長



上原 良幸
沖縄県副知事



石川 秀雄
記念事業実行委員会会長



山入端 恵子
県立首里高等学校校長



壇上の歴代校長。左から石原昌弘(16代・末子夫人代理)、前城盛善(18代)、大城公男(19代)、田場稔(21代)、金城昭七(17代)、神谷嘉善(22代)、又吉孝一(23代)、横田昌和(24代)、白金広正(25代)の各氏

県立第一中学校・首里高等学校が創立百三十周年(尚温王が創建した国学からは二百十年)を迎えた12月9日、同校体育館で記念講演会・式典が行われた。
記念講演会は理学博士で数学者の秋山仁氏が講演。ウイルコックスの「運命の風」やウルマンの「青春」などの詩を引用し、目標に向かって努力することの大切さや冒険心を忘れないことなどを熱く訴えた。
引き続き行われた式典では、山入端恵子校長が「本日あらためて尚温王が掲げた『海邦養秀』の原点に立ち戻るとともに、皆様のご期待に応えるべく、学校づくりに邁進することを誓います」と式辞を述べた。また、創立百三十周年記念事業実行委員会の石川秀雄会長は「百三十周年を契機に『海邦養秀』の建学の精神を継承発展さ

- ①「何事もやり続けなきゃ駄目」と熱く語る秋山仁氏
- ②鏡開きする関係者
- ③創立百三十周年を記念した懸賞論文で、最優秀賞に輝いた赤嶺楓さん(2年)に表彰状が授与された
- ④歴代PTA役員の紹介
- ⑤一中卒業生の高良正次さんが元気よく応援歌を熱唱
- ⑥山元正造指揮による現役吹奏楽部員・OB合同の記念演奏
- ⑦記念講演会には全校生徒と関係者が出席



祝賀会はホテル日航那覇グランドキャッスルに移して開催。舞台では古典舞踊や吹奏楽、PTAによる余興、応援歌などが次々と繰り広げられた。また記念講演会で講師を務めた秋山仁氏が飛び入りで参加、アコーディオンを弾きながらシャンソンを披露すると、会場は大きなどよめきと歓声に包まれ、創立百三十周年を盛大に盛り上げた。最後は一中最後の卒業生である吉田朝啓さんの音頭で万歳三唱して幕を閉じた。



厳肅な面持ちで式典に臨む生徒たち